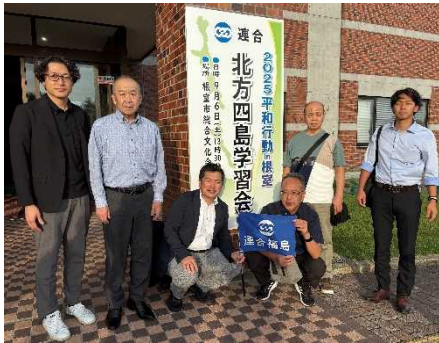


「連合2025平和行動in根室」派遣団報告

～北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！日ロ平和条約の締結を！～
～平和ノサップ集會に、全国から653名が参加～



北方四島学習会会場前での派遣団

「連合2025平和行動in根室」は、9月6日、7日の両日、北海道根室市で、全国の構成組織・地方連合会から仲間が結集し開催された。連合福島からは、派遣団として寺岡毅会津地区連合議長を団長に6名が参加した。

初日9月6日は、北方領土問題の経緯や現状、課題と展望について学ぶ「北方四島学習会」が3カ所に分かれて開催され、連合福島はCコースに参加し、「北方領土をめぐるこれまでの議論と北方領土根室研究会のこれまでの取り組みについて」と題して北海道根室高校 北方領土根室研究会 久保こころさん（2年生）から講演を頂き、その後、北方四島における実話をもとに作成されたアニメーション映画「ジョバンニの島」（一般社団法人日本音楽事業者協会創立50周年記念作品）を視聴した。

続いて2日目は「北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！日ロ平和条約の締結を！」をテーマに納沙布岬・望郷の岬公園において「連合2025平和ノサップ集會」が開催され、653名が結集した。

集會に先立ち、地元釧路市で活躍するアコースティック・ヴォーカルデュオ「ヒートボイス」による演奏があり、その後集會が開催された。

初めに、主催者を代表して連合清水秀行事務局長から、「日本政府には、日露関係の改善、そして、その先にある1日も早い北方領土問題の解決に向けて、粘り強い外交努力を求めたい。本集會に参加の皆さんと、世界の恒久平和への想いを共有し、今後の運動につなげていくことを誓う」と決意を述べた。



主催者を代表して挨拶する

清水秀行連合事務局長

続いて地元地方連合会を代表し須間等・

連合北海道会長より「今年は戦後そして被爆から80年の節目の年となる。私たちは戦争や核兵器の恐ろしさを決して忘れてはいけない。本集會を契機に元島民の皆さんの悲願である北方領土を一日も早く取り戻すため、私たちは北方領土返還の取り組みを仲間の皆さんに伝え、そして次の世代にしっかりとつなげていこう」と述べた。

次に、来賓挨拶として、坂本隆哉・北海道総務部北方領土対策本部長より北海道知事の挨拶が代読され、続いて石垣雅敏・根室市長、山本茂樹・北方領土問題対策協会理事長から挨拶があった。最後に、元島民の角鹿泰司氏から「元

島民の平均年齢が高くなっている状況ではあるが、引き続き返還要求運動の灯を消すことなく取り組みを進め、次世代につなげていく」と力強い挨拶があった。特別報告として渡部達大・連合島根中部地域協議会雲南地区会議議長より、連合島根、連合中国ブロック連絡会が取り組んでいる「竹島領土権確立に向けた取り組み」について特別報告を受けた。続いて、2026平和行動in沖縄に向けて連合平和行動旗・ピースフラッグが引き継がれ、小田桐丈浩・全道庁根室総支部組合員による集會アピールが満場一致の拍手で採択されたあと、浅野康敏・連合北海道釧根地域協議会会長の発声による「がんばろう三唱」で閉会となった。

寺岡団長統率のもと、参加者が一丸となって改めて平和について学習することができました。平和行動に送り出して頂きました、構成組織・地域の皆様に感謝申し上げます、報告と致します。



集會に参加する派遣団6名